



福島大学教職員研修講座特別編

発想を 変えれば 研修は変わる！

日常に溶け込んだ研修で

「やらなければならない研修」から解放されよう

令和4年2月27日(日)13:00～16:00 オンライン開催

福島大学人間発達文化学類附属学校臨床支援センター主催



「研修って必要？」
なんて
もう言わない！
言わせない！

相馬支援学校の チャレンジから学ぼう

なぜ相馬支援学校？

当たり前だった研修を抜本的に改革！

「研修は+αではない」と捉え、
参加したら得をする研修
ニーズと合致する研修
「例年通り」にこだわらない研修
を実践中。

“そんな相馬支援学校の取り組みに
は、学校種を超えて研修を活性化させる
ヒントが盛りだくさんです！”

申し込みは学校臨床支援センターHP
またはQRコードから



参加者の「本当は〇〇したい！」
「もっと□□したい」
から始まる研修です！

新たな研修のヒントを与えてくれる相馬支援学校の先生方

いろんな立場、いろんなキャリアの先生方
だから**ヒミツ**が明らかになります

富村和哉先生（研修主任 副学部主事
19年目）

根本麻美先生（研修副主任 6年目）

飯田里佳子先生（特別支援コーディネーター 8年目）

青木梨紗先生（3年目）

黒澤圭太先生（1年目）

問い合わせ先

福島大学人間発達文化学類附属
学校臨床支援センター事務係

TEL:024-548-8110 FAX:024-548-3181

<https://www.rde.fukushima-u.ac.jp/>

自分がしたい研修は
絶対に
実現しないもの??

Time Table Plan

13:00～13:05 オープニング

13:05～13:30 本当にしたいことは？

13:30～14:10 発想を変える Part 1

みんなが意欲的に参加する

14:10～14:50 発想を変える Part 2

多忙化解消と両立する

14:50～15:00 休憩

15:00～15:40 発想を変える Part 3

次年度につなぐ

15:40～15:55 まとめ

15:55～16:00 クロージング



相馬支援学校の 取り組み (ほんの一部)

1次案内

令和3年度 学校公開
資質・能力を育む単元研究会からの
カリキュラム・マネジメント
教科等横断的な視点に立った資質能力も確実に育むための取り組み

令和3年
12月10日
(金)

【講演】教科等横断的な視点に立った
資質・能力も育成するための仕掛け
とは(仮)

参加された方へ配布します！
◆単元案実践集
◆単元配列表(12年間分)

教科等横断的な視点に立った資質・能力も
「単元案」でコントロールする

「単元配列表」を活用し、効果的な教育内容の組み合わせ方を考える

【当日の主な内容】本校の取り組み紹介、授業公開①(全体)、授業公開②(高等部関係科)、分科会、
単元研究会、講演会を予定しています。詳細は2次案内やHPでご確認ください。(9月版)

福島県立相馬支援学校
〒977-9233 福島県相馬市最上町字内字内1-7-9
TEL:0246-97-1515 FAX:0246-97-2915 <https://www.sh-fes.ac.jp/>

右見解にご賛同ください
HPにも、日々の実践に活か
せる情報を掲載しています！

教科同志の
関連付け、
その先へ

教師寺子屋

～月一回、毎月末金曜開催予定～



～もっと学びたい人のため

「教科指導といっても、専門教科じゃないし不安もある。」「授業づくりについてアドバイスが欲しい。」という**日々の悩み**。「よく聞くキーワード、しっかり理解したい。」「エクセルを活用して業務時間を短縮してみたい。」等の**新しい知識への想い**。「重複障がい教科の目標について開発してみたい。」「**こんなあったら便利になあ。**」という**開発アイデア**、ぜひ

研修部では、日々忙しい**先生方**のために、「**教師寺子屋**」を企画しました。皆と一緒に授業改善をしたり、ある知識を得意な先生に教えてもらったりすることで、**効率よく学び、スキルアップ**を目指し

研修部

詳しくは
当日に！

【日々の研修コラム】

算数の目標を達成するために

「あるくメカトロウィーゴ」が大活躍！！



小学部6年生の各教科等を含めた指導「生活単元学習」

での算数(3段階「B図形」)の指導において、株式会社

!!ビングロボット様 協谷エレクトロニクス株式会社様

と

ちょっと聞きたいシリーズ⑥

(ロボットについて、ま

知的障がい教育における数学科を指導する時のポイント

「数学の見方・考え方」とは？

特別支援学校学習指導要領解説知的障害者教科等編(上)(高等部)の数学科に、「数学的な見方」「数学的な考え方」について以下のように整理しています。

ちなみに、小学部の算数科、中学部の数学科においても、ほぼ同様の内容で示されています。



研修部のグランドデザイン

研修部のミッション

「児童生徒の1人1人の資質・能力の育成最大化」

児童生徒1人1人

【育成最大化】

本校の現状と課題及び時代の変化等を踏まえて研修テーマ等を設定・実践し、教員1人1人の授業実践における資質向上を図り、児童生徒1人1人の「育成を目指す資質・能力」の「育成最大化」を目指すために、授業実践にかかると同時連携を図りながら、運営していく。

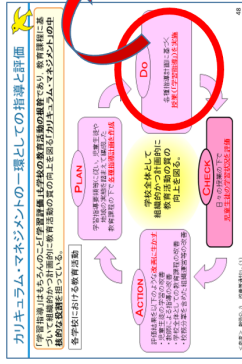
実現するために大切にしたい点

「授業者ニーズに合わせて」

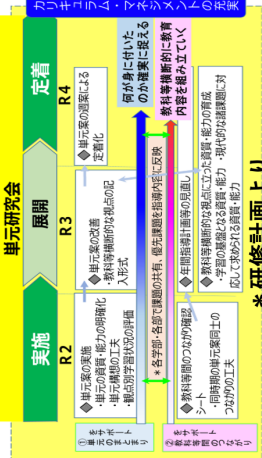
教員1人1人の資質向上だけでなく、学校の組織風土として、持続可能な研修・実践となるように、“授業者ニーズ”を大切にしながら、指導要領の内容を“確実に”かつ“シンプルに”“深く”考え、授業の準備時間の確保及び実践、改善ができるように創造していく。

方法

R4まで「単元研究会からのカリキュラム・マネジメントの充実」



資質・能力の要素の三つの柱の育成を測る最小単位の



* 研修計画より

単元というユニットで、資質・能力の育成（指導目標）を明確にし、授業構想、学習評価、授業改善を行い、授業実践上課題となる教育課程、教科等横断的な視点に立った資質・能力、年間指導計画等の見直しについても、具体的に提案するなどして、教育活動の質の向上を目指す。

【教務部】【初任研】【フォローアップ】【5年経験者研修】との連携

